

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成27年2月13日
【四半期会計期間】	第69期第3四半期（自平成26年10月1日至平成26年12月31日）
【会社名】	イサム塗料株式会社
【英訳名】	Isamu Paint Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 古川 雅一
【本店の所在の場所】	大阪市福島区鷺洲2丁目15番24号
【電話番号】	(06) 6458 - 0036
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 佐藤 貢
【最寄りの連絡場所】	大阪市福島区鷺洲2丁目15番24号
【電話番号】	(06) 6453 - 4511
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 佐藤 貢
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第68期 第3四半期連結 累計期間	第69期 第3四半期連結 累計期間	第68期
会計期間	自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日	自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日	自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日
売上高 (千円)	6,235,488	6,171,480	8,377,002
経常利益 (千円)	831,480	731,816	1,041,724
四半期(当期)純利益 (千円)	638,463	461,949	753,350
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	732,150	575,531	812,841
純資産額 (千円)	12,197,112	12,754,550	12,277,508
総資産額 (千円)	16,121,282	16,580,997	16,148,490
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	65.85	48.41	77.70
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	73.7	75.0	74.1

回次	第68期 第3四半期連結 会計期間	第69期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日	自 平成26年10月1日 至 平成26年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	21.66	17.31

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀の金融緩和政策の効果もあり緩やかな回復基調を見せましたが、消費税引き上げ後の低迷や円安による物価上昇の懸念もあり、依然として先行きが不透明な状況で推移しました。

このような環境のもと、当社グループは環境対応型塗料や高機能性塗料の充実に注力し、自動車補修用塗料の販路拡大を図るとともに、新製品投入により大型車両や工業用などの新規市場開拓や建築用塗料の受注増加に取り組みました。

しかしながら、厳しい市場環境により、当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、61億71百万円（前年同四半期比1.0%減少）となりました。また、利益面につきましては、営業利益は5億78百万円（前年同四半期比13.5%減少）、経常利益は7億32百万円（前年同四半期比12.0%減少）となり、四半期純利益は4億62百万円（前年同四半期比27.6%減少）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 塗料事業

売上高は60億95百万円（前年同四半期比1.1%減少）、営業利益は5億49百万円（前年同四半期比14.3%減少）であります。

#### その他

売上高は76百万円（前年同四半期比1.5%増加）、営業利益は29百万円（前年同四半期比7.4%増加）であります。

#### (2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して、資産は4億33百万円増加、負債は45百万円減少、純資産は4億77百万円増加しました。

資産の増加の主なものは、現金及び預金16億30百万円、受取手形及び売掛金1億69百万円、投資有価証券1億64百万円、商品及び製品1億1百万円、減少の主なものは長期預金11億70百万円、有価証券3億円であります。

負債の増加の主なものは、支払手形及び買掛金1億33百万円、減少の主なものは未払法人税等1億50百万円であります。

また、純資産の増加の主なものは、利益剰余金3億67百万円、その他有価証券評価差額金1億4百万円となっております。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題については、重要な変更はありません。

#### (4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、1億18百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	48,000,000
計	48,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年12月31日)	提出日現在発行数 (株) (平成27年2月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	12,000,000	12,000,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 1,000株
計	12,000,000	12,000,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成26年10月1日～ 平成26年12月31日		12,000,000		1,290,400		1,209,925

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成26年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 2,456,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,435,000	9,435	-
単元未満株式	普通株式 109,000	-	-
発行済株式総数	12,000,000	-	-
総株主の議決権	-	9,435	-

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式が970株含まれております。

【自己株式等】

平成26年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
イサム塗料株式会社	大阪市福島区鷺洲2丁目15番24号	2,456,000	-	2,456,000	20.46
計	-	2,456,000	-	2,456,000	20.46

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成26年10月1日から平成26年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、清稜監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	3,195,271	4,825,680
受取手形及び売掛金	2,635,655	2,805,126
有価証券	1,800,702	1,500,702
商品及び製品	869,451	970,537
仕掛品	94,711	157,693
原材料及び貯蔵品	193,620	215,237
繰延税金資産	82,458	52,821
その他	60,552	92,366
貸倒引当金	16,729	17,991
流動資産合計	8,915,691	10,602,171
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	2,689,348	2,689,348
減価償却累計額	1,327,441	1,392,117
建物及び構築物(純額)	1,361,907	1,297,231
機械及び装置	399,224	395,435
減価償却累計額	313,937	324,048
機械及び装置(純額)	85,287	71,387
工具、器具及び備品	386,301	386,419
減価償却累計額	337,274	348,423
工具、器具及び備品(純額)	49,027	37,996
土地	1,344,467	1,344,467
リース資産	15,201	15,201
減価償却累計額	6,090	7,245
リース資産(純額)	9,111	7,956
有形固定資産合計	2,849,799	2,759,037
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	55,533	38,281
施設利用権	4,948	4,318
電話加入権	6,555	6,555
リース資産	55,559	38,067
無形固定資産合計	122,595	87,221
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	1,839,808	2,004,043
長期預金	1,470,000	300,000
保険積立金	785,302	729,396
繰延税金資産	131,534	77,253
その他	36,837	33,176
貸倒引当金	3,076	11,300
投資その他の資産合計	4,260,405	3,132,568
固定資産合計	7,232,799	5,978,826
資産合計	16,148,490	16,580,997

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	1,805,874	1,938,608
1年内返済予定の長期借入金	52,000	52,000
リース債務	43,165	31,164
未払金	201,262	204,623
未払法人税等	191,931	42,036
未払消費税等	5,247	80,253
繰延税金負債	108	-
前受金	4,472	4,127
預り金	56,279	104,156
賞与引当金	108,120	36,441
その他	41,930	33,209
流動負債合計	2,510,388	2,526,617
<b>固定負債</b>		
長期借入金	345,000	306,000
長期預り保証金	253,925	254,219
リース債務	24,977	17,729
繰延税金負債	8,970	27,384
役員退職慰労引当金	117,277	133,162
修繕引当金	45,000	50,625
退職給付に係る負債	499,519	458,223
負ののれん	52,075	43,396
金利スワップ	13,851	9,092
固定負債合計	1,360,594	1,299,830
負債合計	3,870,982	3,826,447
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,290,400	1,290,400
資本剰余金	1,209,925	1,209,925
利益剰余金	10,297,657	10,664,172
自己株式	974,800	975,397
株主資本合計	11,823,182	12,189,100
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	143,590	247,162
繰延ヘッジ損益	4,219	2,769
その他の包括利益累計額合計	139,371	244,393
少数株主持分	314,955	321,057
純資産合計	12,277,508	12,754,550
負債純資産合計	16,148,490	16,580,997



## ( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	6,235,488	6,171,480
売上原価	4,044,785	4,198,125
売上総利益	2,190,703	1,973,355
販売費及び一般管理費	1,523,062	1,395,574
営業利益	667,641	577,781
営業外収益		
受取利息	3,870	3,841
有価証券利息	18,412	25,336
受取配当金	9,326	11,919
受取賃貸料	39,884	40,831
塗装情報サービス会費	73,537	72,321
生命保険満期差益	16,677	15,575
負ののれん償却額	8,679	8,679
貸倒引当金戻入額	965	-
その他	8,721	9,037
営業外収益合計	180,071	187,539
営業外費用		
支払利息	11,093	9,663
支払補償費	1,243	65
為替差損	3,458	711
たな卸資産廃棄損	-	13,438
貸倒引当金繰入額	-	8,224
その他	438	1,403
営業外費用合計	16,232	33,504
経常利益	831,480	731,816
特別利益		
固定資産売却益	1,746	-
負ののれん発生益	111,774	-
役員退職慰労引当金戻入額	999	-
退職給付引当金戻入額	4,475	-
特別利益合計	118,994	-
特別損失		
会員権評価損	2,300	150
固定資産除却損	2,488	174
特別損失合計	4,788	324
税金等調整前四半期純利益	945,686	731,492
法人税、住民税及び事業税	255,501	220,239
法人税等調整額	45,854	42,310
法人税等合計	301,355	262,549
少数株主損益調整前四半期純利益	644,331	468,943
少数株主利益	5,868	6,994
四半期純利益	638,463	461,949

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	644,331	468,943
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	84,199	103,593
繰延ヘッジ損益	3,620	2,995
その他の包括利益合計	87,819	106,588
四半期包括利益	732,150	575,531
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	724,418	566,971
少数株主に係る四半期包括利益	7,732	8,560

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。

なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
受取手形	- 千円	175,578千円
支払手形	- 千円	468千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費も含む。)及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
減価償却費	123,667千円	148,942千円
負ののれん償却額	8,679千円	8,679千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	49,233	5	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金
平成25年11月11日 取締役会	普通株式	49,228	5	平成25年9月30日	平成25年12月10日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月27日 定時株主総会	普通株式	47,719	5	平成26年3月31日	平成26年6月30日	利益剰余金
平成26年11月13日 取締役会	普通株式	47,715	5	平成26年9月30日	平成26年12月10日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	塗料事業				
売上高					
外部顧客への売上高	6,160,162	75,326	6,235,488	-	6,235,488
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	6,160,162	75,326	6,235,488	-	6,235,488
セグメント利益	641,030	26,611	667,641	-	667,641

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	塗料事業				
売上高					
外部顧客への売上高	6,095,043	76,437	6,171,480	-	6,171,480
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	6,095,043	76,437	6,171,480	-	6,171,480
セグメント利益	549,201	28,580	577,781	-	577,781

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

( 1 株当たり情報 )

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 3 四半期連結累計期間 ( 自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年12月31日 )	当第 3 四半期連結累計期間 ( 自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年12月31日 )
1 株当たり四半期純利益金額	65.85 円	48.41 円
( 算定上の基礎 )		
四半期純利益金額 ( 千円 )	638,463	461,949
普通株主に帰属しない金額 ( 千円 )		
普通株式に係る四半期純利益金額 ( 千円 )	638,463	461,949
普通株式の期中平均株式数 ( 株 )	9,695,515	9,543,203

( 注 ) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

( 重要な後発事象 )

該当事項はありません。

2 【その他】

第69期 ( 平成26年 4 月 1 日から平成27年 3 月31日まで ) 中間配当については、平成26年11月13日開催の取締役会において、平成26年 9 月30日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

中間配当による配当金の総額.....47,715千円  
 1 株当たりの金額..... 5 円  
 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成26年12月10日

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年 2月 5日

イサム塗料株式会社

取締役会 御中

### 清稜監査法人

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 田中 伸郎 印

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 加賀谷 剛 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているイサム塗料株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成26年10月1日から平成26年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、イサム塗料株式会社及び連結子会社の平成26年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。